



市保連 だより

2020
(10月)

〔第496号〕

令和2年10月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会
発行責任者 上野 誠之
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 松下 英信
委員 坂本 純 笠田 たつ子
吉村 美穂 山田 真裕
今村 弘之



理 事 会

「森はいつも安らげる場所です」

立田山野外保育センター運営委員長 成 松 春 光

雑草の森は、四季折々いろいろな姿を私たちに
見せてくれます。大きくて風雨にも負けず夏には
癒しの木陰を提供してくれる樹木たちや、その樹
木の恩恵を受けて森に集う様々な種類の小鳥た
ち、そして小さな仲間の虫たちも元気にすごして
います。森で生活するさまざまな生き物たちの調
和する姿や、季節ごとに訪れる風雪により姿を変
えながら森は成長しています。

その雑草の森も開設19年を迎えました。

こうして雑草の森が19年という年月を成長し続
けていくのも、たくさんの方々のご支援やご協力
の賜物だと真に感じます。立田山野外保育センタ
ー運営に関する貴重なアドバイスをいただいてお
ります審議会委員の皆様や季節ごとのイベントに

ボランティアとしてお手伝い
してくれる方々、そして僱事
ごとだけでなく雑草の森の清
掃活動も協力していただい
ています加盟園の先生方等、た
くさんの方々のご協力を仰い
でおります。また「森の協力
隊」として各法人・個人の皆様にもご支援を頂い
ております。

これまでに雑草の森の運営に携わってこられた
先輩方の「思い」を大切に、地域の方々のご
理解とご協力を仰ぎながら、今後とも利用者
の方々がいま安らげる場所として雑草の森を提供
できるように運営に努めていきたいと思ひます。



理 事 会

「職員みなさんが喜ぶ福利厚生をめざして」

福利厚生委員長 今 村 修 一

令和2年度、3年度の2年間福利厚生委員長
をやらせていただくことになりました、よつば
保育園 園長の今村修一です。令和2年は年明
け早々から新型コロナウイルス感染が猛威を振
るい国全体を震撼させています。また、7月
には、熊本の南部を中心に西日本地域で豪雨に
よる甚大な被害をもたらしました。被害にあわ
れた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防
止対策として、多岐にわたりイベントが中止に
なっております。中でも、福利厚生委員が活動
していました、熊本市主催の火の国まつりも中
止となり市民の皆様をはじめ市保連の皆様方も
肩を落とされた方が多かったことと思ひます。ま

た、これからの行事につ
いても新型コロナウイルス感
染拡大防止を考えていかな
ければなりません。

今後の福利厚生事業は、
各園の職員の皆さんのため
になるように委員会では、
毎月の会議で、「福利厚生の在り方」と題しま
して様々な分野から聞き取りをして情報を集
め、また、理事・監事の皆様や各ブロック園長
会でのご意見等をしっかりと受け止め、型にと
られない個々の職員の生活スタイルに合った
実のある福利厚生を目指します。





理 事 会

「保育士会 ～手つなぎで～」

保育士会会長 鬼 木 紀代美

引き続き保育士会会長を務めさせていただくことになりました。

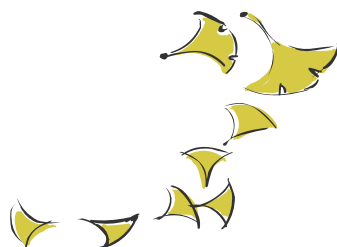
歴代の保育士会会長が各園それぞれのお立場にありながら担われた重責、ご苦労を前期2年の経験で学び感じました。感謝せずにはられません。

私の役目は、全国よりいち早く入ってくる保育に関する情報をどう会員の皆様にお伝えするか、また現場の思いを言葉にし、返していくか。内容は制度に関すること、全国各園の保育の取り組み、課題、保育に熱く子どもに深い愛情を持った保育者仲間の思い、エッセンシャルワーカーである保育者への社会のニーズなど多岐にわたります。

令和元年度の役員で作成した『保育者のこころえ』（P.5）の全国保育士会倫理綱領に私たち保育者の役割が示してあります。新型コロナウイルスの感染拡大によって、研修会や研究大会

が中止になり、自園以外の先生方とお会いする機会が無くなっています。園の感染対策、保育の取り組みなど不安を抱えながら、努力を続ける保育の現場。『保育者のこころえ』は先輩保育者から保育のなかま、子どもたちに対する優しい心、思いを集めたものです。ご活用ください。

連盟そして全国の保育者は手つなぎで繋がっています。支えあい、互いを思いやりながら『今』を踏ん張っていきましょう。私たちは一人ではありません。



理 事 会

「保育士会副会長という新しい扉を開いて」

保育士会副会長 沖 孝 予

今年度より、熊本市保育園連盟保育士会副会長になりました沖です。

いつもの清々しい朝……。出勤したと同時に自園の園長先生から笑顔で「先生、保育士会の副会長をやってみらんね？」とお話を頂いた事を昨日のように覚えています。

「保育士会」と名前は聞いたことがある程度の認識だった私でしたが、本来の好奇心旺盛な性格が奮い立ち、二つ返事で大役を引き受けることにしました。

毎月の「理事会」に参加する中で、今まで何気なく参加していた「火の国まつり」「わんぱくまつり」「市連体育祭」「研修会」などが、各委員会の理事の園長先生方が中心となって「今の保育士の先生方は何を必要としているのか？」と考え、企画されている姿を目の当たりにし、【一保育士】では知りえなかった園長先生方の取り組みに改めて驚きと感謝でいっぱいの日々です。

今年はコロナウイルスの影響で、研修やイベントも感染予防の為に中止になることが多く、自身が学ぶ機会も減り非常に残念です。そんな環境の中、新たな取り組みを模索していく必要があると話し合われています。最先端の保育はここから生まれてくることを実感しています。

まだまだ役員として走り出してもいない私ですが、保育士会会長の仕事を後ろで学ばせて頂きながら、短い期間の大役が充実したものになり、少しでもお役に立てればと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。





理 事 会

「給食部会長として」

給食部会長 矢 野 裕加里

この度、給食部会長として、2年間活動させていただくこととなりました。これ程の大役を私自身経験するのは初めてですが、諸先生方の意見を聞きながら、給食部に反映させ、進めて参ります。

「食事」とは生きる源です。生命の維持、発達、人としてのコミュニケーションに欠かせないものです。子どもたちにとっても「食事」はみんなで楽しく会話をしたり、色々な食に触れる等の経験を積み重ねることのできる重要な役割をもっていると思います。

喜びや楽しみを素直に受けとめ「野菜を栽培してその成長を観察し収穫してみたい」「クッキングでこんなものを作りたい」等、子どもたちのそれらが単発で終わるのではなく様々な園生活を通して連携し、地域の方々とも実践できるような活動を幅広く行うことができたいと思います。

今、コロナに負けない、ウイルスに対する抵抗力、免疫力をつける等の食事も求められてきています。免疫力には多くの栄養素が関わっており特定の食品だけではウイルスに勝つことはできません。専門家の知識を深め、強い身体をつくることも考えていきたいと思っています。



理 事 会

「四つの大きな柱」

企画広報委員長 松 下 英 信

新理事長体制のもと、企画広報委員会では四つの大きな柱を中心に活動してまいります。

先ず「市保連だよりの発行」は、会員の皆様にとって魅力のある内容や、掲載記事で連盟会員間の情報共有化に努めてまいります。

次に「アンダンテの発行」では保育園・認定こども園・小規模保育園の保育方針や、特別保育事業の紹介をし未就学児をお育ての保護者に情報提供を行っています。

そして「連盟ホームページの管理運営」を行い、会員のみなさん、一般の方々や、養成校の生徒さんに、多くの情報提供を行っています。

四つめの情報発信事業「ほいくフェスタの開催」は、開催場所のサンピアンと浜線ゆめタウンをお借りして、時期や規模の検証を関係委員会と協議を行い、入園相談や人材確保、一般の方々へPRなどの充実を図ります。

その他に、メールの配信や新たな企画広報活動などがあります。

ただ課題も多く、市保連だよりでは発行の2ヵ月前には原稿ができていなければならないため、最新の記事になっていなかったりしますし、アンダンテでは、表紙の公募をしていますが、あまり応募がないことや、6～7月の発刊となるため年度をまたいでの事業となるため、委員の交代時は大変であることや、ホームページでは内容が古いものもあり、最新版への変更が容易ではないことなど課題は多いですが、前向きに検討し取り組んでまいります。





理事会

「2期目に向かって」

女性部部长 栢 間 敦 子

平成30年度より女性部部长に就任し、今年度2期目も務めさせていただく事になりました。役員の方々も各ブロックから昨期と同じメンバーの方が選出され、女性部一丸となりチームワークをもって活動し、園長先生方や日々子どもたちを支える職員の方に必要と思われる研修・情報の発信をしながら進めてまいりました。しかし、今年度は新型コロナウイルス禍での自粛要請の為、残念ながらまだ研修会等を実施しておりません。今後の状況をみながら、女性部らしい豊かな感性が磨かれる体験型研修を行っていく予定です。

さて、現在までの女性部の歴史を振り返りますと、昭和39年6月「組織強化の一環として、婦人所長の会」が承認された事に始まり、昭和47年3月名称を婦人部と改称され、平成8年4月女性部と改名、現在に至っています。その間先人方の活動は①保育の質の向上 ②職員の資

質及び地位向上 ③環境の整備 ④保育予算獲得等、そして国会議員への陳情運動の先頭に立って働いてこられました。このような活動が今も脈々と続いていますので、私たちも諸先輩方が築いてこられた伝統を守り、行動力をもってしっかりと後を続けて行かなければならないと思っております。



これからも女性部として「子どもの最善の利益」を第一に考え、連盟に連なる一組織として、私たちにできる事、しなければならない事を実践して参ります。そして規約に掲げております事業の目的を達成する為に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



理事会

「旅は道連れ 世は情け」

青年部部长 富 永 一 吉

この度、青年部部长を拝命いたしました、木の葉こども園の富永と申します。昨年度に行われた青年部創立20周年記念事業を経て、これまでの活動の歩みを知る中で諸先輩方が繋いでこられた青年部の歴史の重みを感じ、改めて身の引き締まる思いでいます。私自身、これまで多くの学びと繋がりを得た青年部での活動も後先少ない年齢になりましたが、「旅は道連れ世は情け」、会員の先生方が青年部に入っていてよかったと思えるような活動を少しでも行っていく、今後も末永く助け合っていく関係を築きたいと思います。

さて、今年度の活動については、未だに終息の兆しの見えない新型コロナウイルスの影響を受け、計画通りに進まず先の見通しも立てにくい状況ではありますが、活動を停滞させないように、その場その時出来ることを考え少しずつ

ではありますが活動を進めているところです。また同時に、この状況を青年部として活動の幅を広げる好機と捉え、ウェブ会議やアンケート、オンライン研修等新たな形式の在り方にも積極的に触れ、数をこなしながら今後のコロナ禍の状況に合わせ様々な対応ができるよう引き出しを増やせればと考えています。



今後も青年部会員の先生方と活発に意見を交わしアドバイスを得ながら、連盟組織のミニマムスタンダードを遵守しつつ、青年部らしい果敢で実践的な活動を行っていきますので、今後ともご理解ご協力、そして温かい眼差しを頂ければ幸いです。